

オサダ農機

毎時8aの収穫効率

スーパーコーンプラッカー

オサダ農機 長田秀治 社長、北海道富良野市字西扇山の11の生食用スーパーコーン収穫機・ス



TS10

自走式収穫機「TS10」の2型式。生食用スーパーコーンは、近年加工用に比べて単価が高いため、緑肥として優れていることなどから注目を集めている。

スーパーコーンプラッカー「TS10」を開発。ロングクローラで悪条件下でも強く、傷つけずに収穫でき、毎時約8aの高い収穫効率を実現させ好評を得ている。主な特長は次の通り。

▽専用2連カッタで切り取った茎をベルトでしっかり掴み、引き上げることでロスがない収穫が可能で交換もスピーディ

・スーパーコーンプラッカー「TS」シリーズを開発。ロングクローラで悪条件下でも強く、傷つけずに収穫でき、毎時約8aの高い収穫効率を実現させ好評を得ている。主な特長は次の通り。

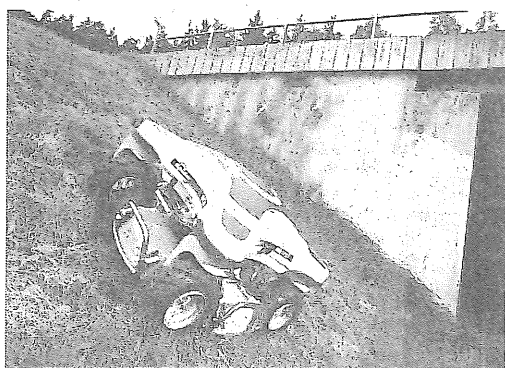
▽ハンドルの操作をしながら、レバーの操作で刈り取り部分を上下でき、高さ合わせもスムーズにできる▽コンテナ用に油圧リフトを装備し、自力で1tコンテナの着脱が可能で交換もスピーディ

40周年キャンペーン
ヒコンジャパン
ヒコンジャパン 森泰人社長、北海道千歳市上長都1121-2は、今年12月で創業40周年を迎え、各種記念キャンペーンを展開中。

製品の購入でメーカーオリジナルグッズをもらえるプレゼント。また、全国各地で美演会や40周年記念モデルの限定販売など、さまざまな企画を計画している。

サンエイ工業

「ダー・ミニ」。同機は操く、360度回転し、確作が簡単なラジコンで作業できる。コント川原の土手や路肩の業ができ、最大斜面30度ローラもシンプルで、慣り面など傾斜のある場所でも安心して作業できる。人が作業するのに危険な場所が不安定なため、思わぬ力での作業が危険な場所だけでなく、コンパクト事故を招くケースが珍しはもろろん、緑地や河川で小回りが利くから、狭公園などのメンテナンス。同社はラジコン操作で、利と同社。ガソリン式なので非常にパワフルで、1時間あたり1500mの作業性能。



最大斜面30度まで作業が可能となる

草刈作業の大革命

斜面对応グラスチョッパー

同機は主な仕様は▽エンジン 190cc▽走行スピード 時速0~4km▽操舵方向 360度回転4輪連動操舵式▽草刈部 ブレード1枚▽刈幅 56cm▽刈高 4~9cm▽燃費 毎時1ℓ登坂能力 30度▽寸法 104×90×60cm▽重量 125kg

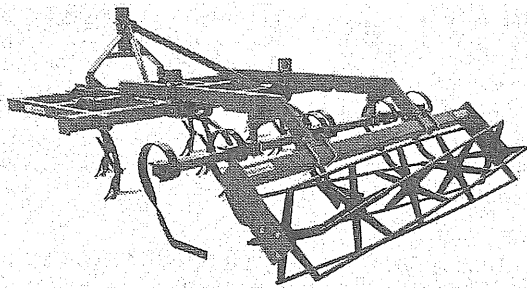
石村鉄工
農家から高評価得る
乾田湿田用ローラーユニット



石村社長

㈱石村鉄工(石村聡英社長・北海道上川郡美瑛町扇町)は、昨年、平成26年度北海道地方発明表彰において、「日本弁理士協会長奨励賞」を受賞したことから、今年も幅広く注目を集め、高い評価を得ている。

昨年受賞したのは、「乾田・湿田用ローラー」



ユニット(特許第1464758)で、標準装備されている「ヘビー・Triovs K-TIOS」

「ヘビー・カルチ」に標準装備された「乾田・湿田用ローラーユニット」

乾田・湿田専用機」とともに、農家の期待が大きい。同ローラーユニットは、水田など湿り気の高い土壌を深耕しながら、碎土・整地を同時に作業することができ、「非駆動型のローラ

ーユニット」として開発されたもの。畑で使用する碎土・整地機に取り付けられているケージ・ローラーに代替えて設置できる。

「乾田・湿田用ローラーユニット」は、両端部に回転軸が設けられ、複数の回転体を具えている。各回転体は径方向に延びる複数の放射線部に配されることにより、側面から見ると「星形」を形成し、隣接する各回転体の間で一枚ごとに角度をつけながら配置され、チューブバーにより対応する放射線状部の先端同士が連結し、ねじれが加わった形状となり、効果を発揮する。

この仕組みにより、水

田などにおいて、土壌に湿気を帯びた土が、ローラーに詰まったり、藁などが絡んだりすることを軽減し、碎土・整地作業を効率的に行うことが可能となった。

非駆動のために、燃料費削減を図ることができ、土壌の過剰碎土を防止し、通気性を保持するなどのメリットも期待できる。

「乾田・湿田用ローラーユニット」は、高効率な粗耕起を行うことができる。「ヘビー・カルチTriovs K-TIOS 乾田・湿田専用機」に標準装備されており、泥が詰まらないなど、ユーザーから好評である。